

れきし しらかわはちまんしゃ
②1 歴史がいっぱい 白川八幡社！



しらかわはちまんしゃ

白川八幡社は、と

れきしぶか ばしょ
ても 歴史深い場所
です。

の とはんとうじしん
能登半島地震で、
とりい
鳥居がなくなって

しまいました、

とりい かいだん あ
鳥居をくぐり、階段を上が
ると、拝殿があります。

はいでん なか おうじんてんのう
拝殿の中には、応神天皇



などが祭^{まつ}られており、左大臣^{さ だいじん}と右大臣^{う だいじん}が守^{まも}っています。
大窪大工^{おおくぼ だいく}による細^{こま}かい細工^{さいく}が至^{いた}る所^{ところ}に見^みられます。
す。

また、源氏^{げんじ}と平氏^{へいし}が戦^{たたか}っている絵^えなど、今^{いま}も色鮮^{いろあざ}やかな
絵^えがいくつもあります。



拝殿^{はいでん}の扉^{とびら}の前^{まえ}には、鰐口^{わにぐち}が
ぶら下^さがっていますが、境内^{けいだい}にあ
る大日堂^{だいにちどう}にかけられている鰐口^{わにぐち}
は、明暦^{めいれき}3年^{ねん}（1657）と書^かい
てあります。現在^{げんざい}でも堂前^{どうまえ}にかけ
られているものの中^{なか}では、最^{もっと}も
古^{ふる}いそうです。



自然^{しぜん}に囲^{かこ}まれてとてもすてきな白川八幡社^{しらかわはちまんしゃ}に、ぜ
ひ行^いってみてください！！